

## 今週の見頃写真

10月7日編集

有峰も一雨毎に冷涼となり、最低気温が10℃以下になり始め、木々も少しずつ色づき始めています。有峰湖の水も2週間前に比べ、更に減水しています。今週の有峰から切り取った風景（宝来島周辺の現況他）や動植物の生態の一部を紹介します。

### ○風景



有峰森林文化村モニュメントから猪根山を眺望  
(9/27 撮影)



有峰湖展望園地より有峰湖宝来島を眺望 (9/28 撮影)



小見線より有峰湖宝来島を眺望 (9/28 撮影)



有峰湖展望台より有峰ダムを眺望 (9/28 撮影)



宝来島対岸から渇水期の有峰湖を眺望 (9/27 撮影)



宝来島対岸から渇水期の有峰湖を眺望 (9/27 撮影)



宝来島より対岸を眺望 (9/27 撮影)





宝来島より有峰ダムを眺望 (9/27 撮影)



宝来島より有峰ダムを眺望 (9/27 撮影)



陸続きとなった宝来島を眺望 (9/27 撮影)

#### ○動物編

#### ○イノシシとツキノワグマ関連

9月27日行事の下見を兼ね東西半島遊歩道を巡回しました。遊歩道の入口がイノシシの被害を受けていました。昨年も同じ場所が被害を受けています。一方、少し中に入った遊歩道で今年初めてミズナラの樹上に作られたクマ棚を発見しました。地面には殻斗（ドングリの帽子の部分）が付いたミズナラの枝やドングリの外果皮が落ちています。ツキノワグマは上手にドングリの中身だけを捕食しているようです。周りのミズナラには実がほとんど結実していません。ツキノワグマはどのようにしてドングリが

付いているミズナラの木を探し当てるのでしょうか？ 嗅覚に優れたツキノワグマの本能の成せる業でしょうか？ 不思議です。

夏場食料としてのアリの固執し、猪根平自由広場にも出没していたツキノワグマの食性、ドングリにシフトし始めたのでしょうか。9月下旬以降、ツキノワグマの猪根平自由広場への出没がめっきり減りました。関係がありそうです。



イノシシの被害を受けた入口 (9/27 撮影)



イノシシの被害を受けた入口 (9/27 撮影)



ミズナラの樹上に作られたクマ棚 (9/27 撮影)





ミズナラの樹上に作られたクマ柵 (9/27 撮影)



地面に落下したミズナラの枝を示す大井主任指導員  
(9/27 撮影)



地面に落下したミズナラの枝に残った殻斗 (ドングリの帽子の部分) とドングリの外果皮 (9/27 撮影)

#### ○ニホンザル

9月27日と28日の連日、午前10時頃からニホンザルの群れが自由広場に再登場しました。ゆっくりと移動しながら、伸ばし始めたシロツメクサ、アカツメクサやシマスズメノヒエを捕食していました。両日、電気柵の内側に生えるシマスズメノヒエに固執し、捕食していました。滞在時間は1時間半に及

びました。



シマスズメノヒエを捕食中のニホンザル (9/27 撮影)



電気柵内でシマスズメノヒエを捕食中のニホンザル  
(9/27 撮影)



シマスズメノヒエを捕食中のニホンザル (9/27 撮影)





カラスとニホンザルの2ショット (9/27 撮影)



森林公社宿舎前で毛繕い中のニホンザル (9/27 撮影)



辺りの様子を伺うリーダー (9/28 撮影)



シロツメクサ捕食中のリーダー (9/28 撮影)

## ○植物編

### ○ヤマハッカ (シソ科)

有峰では半日陰の道路沿いに生育している多年草です。枝先に長い花穂をだし、青紫色の小さな花を数個ずつ数段に付けます。9月下旬が花の見頃です。



西岸線の道路沿いにて 9/27 撮影

### ○アキギリ (シソ科)

ヤマハッカと同様に、有峰では半日陰の道路沿いに生育している多年草です。花冠は紅紫色で美しく、9月下旬が花の見頃です。



西岸線の道路沿いにて 9/27 撮影

### ○マスタケ (タコウキン科)

東西半島遊歩道で、立ち枯れしたミズナラの根元で発見しました。傘・下面とも朱紅色を帯び華麗です。



ミズナラの根元に生えるマスタケ (9/27 撮影)